

エネルギー需要及び省エネ・創エネへの施策ニーズに関するアンケート（案）

福岡県エネルギー政策室

委託先：公益財団法人 九州経済調査協会

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

現在、東日本大震災を契機として、国民生活や経済活動の基盤であるエネルギー・電力問題への関心が高まっています。これまでのエネルギー政策は、基本的に国の枠組みの中で行われてきましたが、震災を契機に、エネルギー・電力源の多様化・分散化や、エネルギーの効率的利用の促進など、地方に期待される役割も大きくなっています。

そこで、本県では、このような地方への期待に応えるとともに、安定的なエネルギー・電力需給を確保し産業の活性化や雇用の確保を図るため、分散型電源や高効率発電の普及、エネルギーの効率的利用の促進など地方における役割や取組みを研究しています。そして、本アンケート調査は、このような研究会での基礎資料とするために、県内における将来のエネルギー需要や事業者による省エネ、創エネに関する施策ニーズを把握することを目的に実施するものであります。

以上の趣旨をご理解いただき、当アンケート調査にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。なお、アンケートにご回答いただいた内容につきましては、統計処理にのみ使用いたします。

<ご回答にあたって>

以下のアンケート用紙にご回答いただき、**〇月〇日(〇)**までに、返信用封筒か、FAX、eメールにて、ご返信ください。また、ご希望がありましたら、調査票のeメール発送も承ります。なお、不明な点がありましたら、下記までご連絡をお願い致します。

公益財団法人九州経済調査協会

担当者：〇〇、〇〇

〒810-0041 福岡市中央区渡辺通 2-1-82 電気ビル共創館 5階

電話：092-721-4905 FAX：092-721-4904 E-mail：katayama@kerc.or.jp

【御社・ご記入者について】

企業／事業所名		従業員数	名
業種			
所在地	〒		
調査票記入担当者	(氏名)		
	(所属)		
	(連絡先) Tel	Fax	
	E-mail		

※本調査は、**貴事業所**の状況についてお答えください（企業単位の調査ではありません）

I エネルギー需要動向について

問1 貴事業所の購入電力量をお答えください

購入した電力のうち、共同受電等による『調査対象事業所』以外への販売・払出量は除いてください

	単位 (○で囲む)	消費量計 (または金額計)
購入電力 (買電)量	kWh 円	

問2 貴事業所の事業活動での燃料消費量をご記入ください。なお、車両用燃料については、主に一般道路を走行する自家用（社用）、事業用（タクシー、トラック、バス等）の消費量は含めないでください。

	単位 (○で囲む)	消費量計 (または金額計)
都市ガス	m ³ 円	
LPガス(LPG、プロパンガス)	トン m ³ 円	
灯油	リットル 円	
A重油	リットル 円	
ガソリン	リットル 円	
軽油	リットル 円	
上記以外の燃料	(燃料名記入)	(単位記入)

問3 貴事業所の事業用に使用するための自家発電設備はありますか？



問4 問3で「1.ある」とお答えいただいた方へお尋ねです

所有または管理している**自家発電設備**をお選びください。

	稼働状況 (下記の選択 肢番号を記入)	単位	発電量計	
				うち貴事業所以外 への販売・払出量
ボイラ発電 (汽力発電)		kWh		
コジェネレーション		kWh		
排熱を利用しないディーゼル・ ガスタービン等発電		kWh		
太陽光発電		kWh		
風力発電		kWh		
小水力発電		kWh		
その他の発電 →具体的に ()		kWh		

稼働状況の選択肢

①常用 (稼働あり) ②常用 (定期点検のみ、または1年に一度も稼働なし) ③非常用
--

問5 貴事業所における省エネルギーの可能性・実現性について、あてはまるものに○をつけてください。

なお、削減対象として、エネルギー原単位 (=エネルギー使用量/生産額・売上高) を想定し、お答えください。

①おおよそ10年後

1. 業界平均を上回る削減
2. 業界平均並みの削減
3. 業界平均を下回る削減

②おおよそ20年度

1. 業界平均を上回る削減
2. 業界平均並みの削減
3. 業界平均を下回る削減

II 省エネ・創エネの取り組み状況

問6 貴事業所における、現在の「省エネ、創エネ」の取り組みの導入状況についてお答えください

- | | | |
|------------------|---|------|
| 1. 導入 (実施) 済み | } | 問7へ |
| 2. 導入 (実施検討中) | | |
| 3. 導入 (実施) の予定なし | } | 問11へ |
| 4. 未検討 | | |

問7 貴事業所における「省エネ、創エネ」の取り組みの導入状況についてお答えください

		導入 実施 状況 ※1	支援制 度活用 有無 ※2	支援制度の内 容 ※3 (注) 選択肢8 はその内容を記 入ください
設 備 ・ イ ン フ ラ	太陽光発電設備の導入			
	風力、バイオマス、中小水力による発電			
	蓄電設備の導入			
	エネルギー効率の高い生産設備の導入			
	デマンド監視システムの導入			
	廃熱の有効利用			
	照明のLED化			
車 両	社用車を電気自動車にする			
	社用車をハイブリッド車にする			
	社用車を燃費の良い車にする（電気、ハイブリッド以外）			
ソ フ ト 面	冷暖房温度の徹底管理			
	エレベーターの使用制限			
	照明点灯数の調整、点灯時間の制限			
	作業時間、勤務時間の変更			

※1 「省エネ、創エネ」に関わる導入・実施状況の選択肢番号

- 1.導入（実施）済み 2.導入中（一部実施済み） 3.導入（実施）を検討中
4.導入（実施）の予定なし 5.未検討（不明）

※2 「支援制度活用の有無」に関する選択肢番号

- 1.国の支援制度を活用 2.県の支援制度を活用 3.市町村の支援制度を活用 4.未活用

※3 「支援制度の内容」に関する選択肢番号

- 1.再生エネルギー固定価格買取制度 2.買取制度以外の補助・助成 3.低利融資・利子補給
4.債務保証 5.リース・割賦・貸与 6.税制優遇
7.情報提供（省エネ診断など） 8.その他（ ）

問8 省エネ、創エネに関する支援制度は主にどのようなところから情報を入りましたか？

- 1.政府（国、政府系機関） 2.福岡県 3.市町村
4.業界他社 5.設備機器メーカー 6.政府系金融機関
7.民間金融機関 8.エネルギー供給事業者 9.ESCO 事業者
10.社内 11.その他（ ）

問9 支援（制度）がなかった場合でも、省エネ、創エネ対策を実施していましたか？

- 1.支援制度がなかった場合でも、省エネ、創エネ対策を実施・導入していた
- 2.支援制度がなかった場合には、省エネ、創エネ対策を実施していなかった

問10 省エネ、創エネに取り組む上での課題（実施していない理由）を下の選択肢からお選びください

- 1.他の経営課題の優先度が大きく、省エネ、創エネ対策を考えている余裕がない
- 2.当事業所のエネルギーコストは、支出全体に占めるウエイトが少なく優先順位が低い
- 3.省エネ、創エネ対策を実施するための設備投資資金の確保が難しい
- 4.省エネ、創エネ対策に関する情報が少なく、判断ができない
- 5.省エネ、創エネ対策を実施する人材が不足している
- 6.省エネ、創エネ対策とは、具体的に何をするのか分からない
- 7.その他（)
- 8.とくに理由はない

問11 支援制度をより活用しやすくするために必要だと思う点は何ですか？

- 1.対象事業者の業種範囲の拡大・多様化
- 2.対象事業者の規模要件の拡大・多様化
- 3.設備等要件の多様化
- 4.書類作成等の簡素化
- 5.情報入手の容易さ
- 6.募集期間の長期化
- 7.実施期間の長期化
- 8.補助額（補助率）の増額・引き上げ
- 9.その他（)

問12 省エネ・創エネを推進する上での課題解決策や新たな施策に関する提案等に関し、福岡県に対する要望を、ご自由にお書きください。